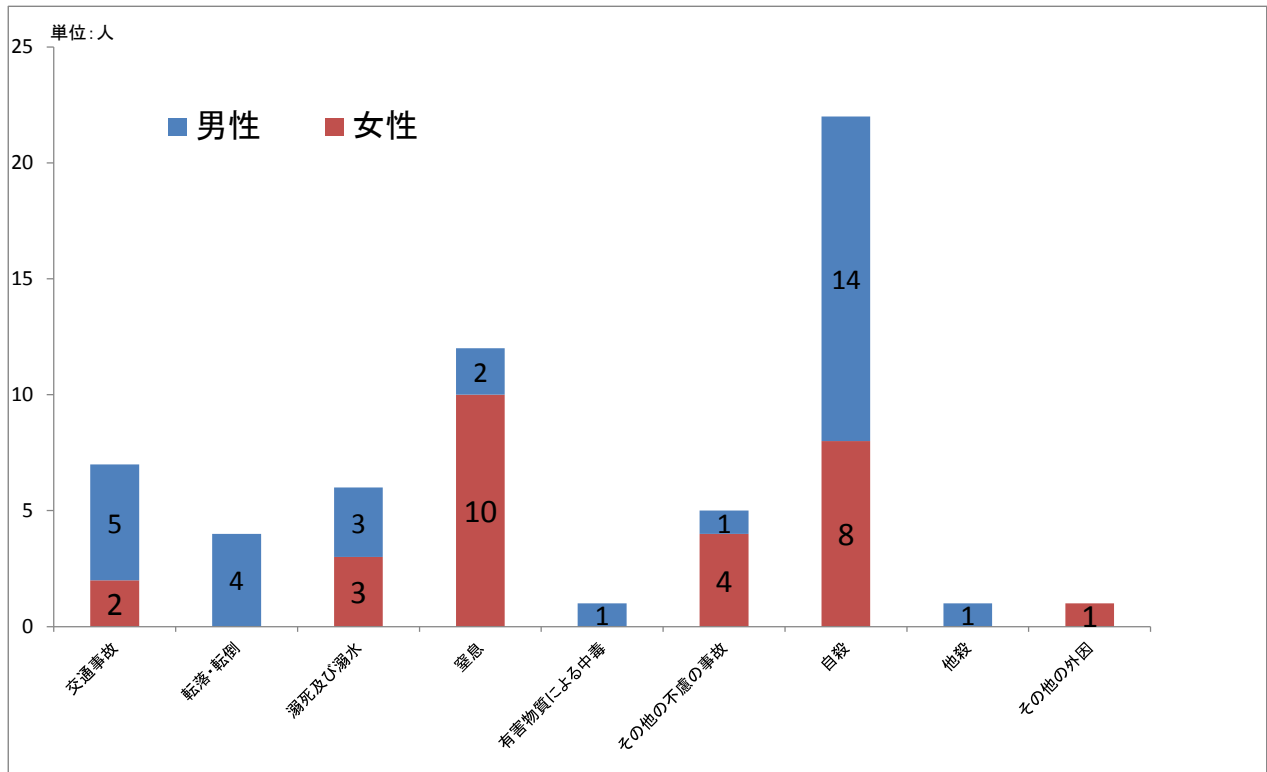


## ○平成28年（2016年） 十和田市における外因死亡について

表1 原因別、男女別

外因死の原因については、昨年同様、自殺が1番多く、次いで窒息となっており、全体の約58%を占めている。

男女別では、男性が自殺、交通事故、転倒・転落の順に多くなっている。女性は窒息、自殺、その他の不慮の事故の順に多くなっている。



(厚生労働省 人口動態調査より)

表2 年代別

年代別に見ると、70歳以上の人が多く死亡しており、全体の63%を占めている。

表1の原因別で多数を占めた自殺は、30代から80代まで幅広く分布している。次の窒息は、65歳以上の高齢者が全てを占めている。

(単位:人)

年代	交通事故	転落・転倒	溺死及び溺水	窒息	煙及び火災への暴露	有害物質による中毒	その他の不慮の事故	自殺	他殺	その他の外因	合計
0歳～4歳											0
5歳～9歳											0
10歳～14歳											0
15歳～19歳											0
20歳～24歳			1								1
25歳～29歳											0
30歳～34歳	2							1			3
35歳～39歳								1			1
40歳～44歳								1			1
45歳～49歳	1							2			3
50歳～54歳								3			3
55歳～59歳			1					2			3
60歳～64歳								3	1		4
65歳～69歳		1		1			1				3
70歳～74歳		2	1	1			1	2			7
75歳～79歳	1			2				3			6
80歳～84歳	2	1	2	2				3			10
85歳～89歳	1			2		1	1				5
90歳～94歳			1	2			1	1		1	6
95歳～99歳				2			1				3
100歳以上											0
合計	7	4	6	12	0	1	5	22	1	1	59

(厚生労働省 人口動態調査より)

※数値については、厚生労働省の人口動態調査の調査票情報を利用、独自集計しているため、公表数値とは一致しない場合があります。